

HiKOKI

取扱説明書

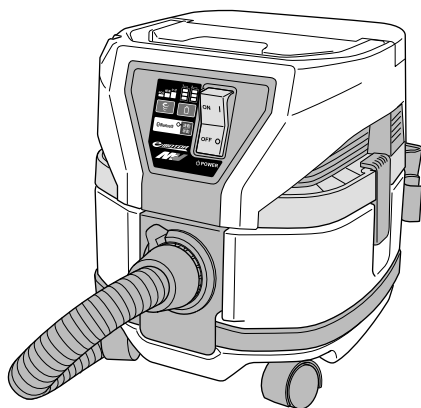
用途

- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん
- 作業場、その他の一般清掃

コードレス集じん機

36 V RP 3608DB

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	4
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
Bluetooth 無線技術について	8
各部の名称	9
仕様	10
標準付属品	11
別売部品	12

使い方

ご使用前の準備・点検	13
ポリ袋の取付け	17
フィルタの取付け・確認	18
電動工具との接続	19
掃除機として使う	20
スイッチの操作	21
無線連動機能について	22
集じんする	25
モード表示ランプの警告シグナルについて	27
フィルタの除じん	27
粉じんを捨てる	28
紙フィルタ (別売部品) の取付け	29
AC/DC アダプタの (別売部品) 使い方	30

その他

運搬・収納・保管	31
保守・点検	33
故障診断	35
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ④ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ 保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠ 警告

- ⑥ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ 不用意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑨ 蓄電池を火の中に投入しないでください。
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⚠️注意

- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、機体やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した機体やその他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑫ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス集じん機について、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① **以下の物は吸い込まないでください。**
 - 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温の物。
 - 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - 木片、金属、石、ひもなど。
 - セメント粉・トナーなど固化する物や、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
 - 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
 - 水、油などの液体。火災やけがの原因になります。
- ② **フィルタは正しくセットして使用してください。**

フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
モーターが故障する原因になります。
- ③ **機体に水や油などをかけたりしないでください。**

この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。
- ④ **機体の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。**

モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- ⑤ **機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。**

感電や故障の原因になります。
- ⑥ **転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。**

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑧ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**

そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑨ **この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。**

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

⚠ 警告

- ⑩ コードレス集じん機本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑪ コードレス集じん機本体の端子部（蓄電池取付部）に、粉じんや切りくず、ほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に粉じんや切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた粉じんや切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に粉じんや切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
 - 蓄電池取付部の下に、粉じんやほこり、あるいは水などの液体がある場合は、きれいにふき取ってください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑫ 本機の使用周波数帯では医療用電気機器や産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線（免許を要する無線局）および特定省電力無線（免許を要しない無線局）などが運用されています。これらの場所では電波干渉の恐れがありますので本機を使用しないでください。
- ⑬ 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし電動工具とコードレス集じん機本体の間に障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
- ⑭ 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前にコードレス集じん機本体と電動工具が連動することを確認してください。
連動できない状態で使用すると、電動工具から漏れ出した粉じんを、作業者が吸い込む恐れがあります。

⚠ 注意

- ① スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ② 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
特に高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。
- ⑥ 火気に近づけないでください。
変形の原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 誤って落とすなど、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ.....

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。




○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

Bluetooth® 無線技術について

Bluetooth® のマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、ライセンスに基づき使用しています。

本製品に搭載されている Bluetooth 機器は 2.4 GHz 帯の周波数を使用しています。このため、以下の注意事項を良く読んで、正しく使用してください。

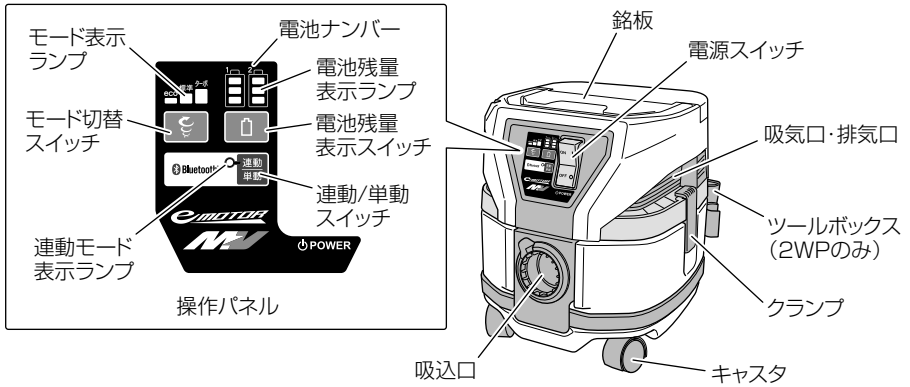
- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局設備として、技術基準適合証明を受けていますので、使用にあたり無線局の免許は必要ありません。
- 本機は技術基準適合証明を受けていますので、絶対に分解や改造をしないでください。また、本機に貼ってある認証ラベル（ マーク記載）をはがさないでください。法律で罰せられる場合があります。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線 LAN、他の Bluetooth 機器などは同じ周波数帯を使用しています。これらの機器と相互に電波干渉しないよう、はなして使用してください。
電波が届かない場合があります。
- 本機は日本国内でのみ使用できます。
- Bluetooth による通信によって発生した損害については、本製品の不具合を除き、弊社では一切の責任を負いません。
- ペースメーカー、その他医療機器をご使用される方は、当該の医療用電気機器メーカーまたは医療機関や販売業者に、電波による影響について確認してください。
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
本機からの電波が、自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。
- 混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しないでください。
本機からの電波が、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

○ 騒音防止規制について

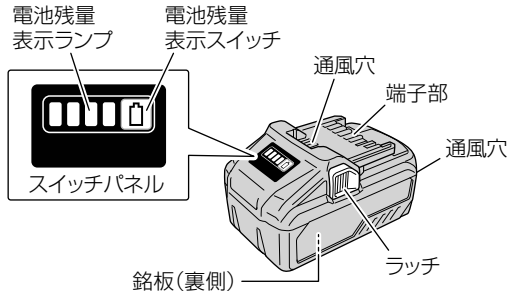
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

本体



蓄電池



仕様

1. 本体

形名	RP 3608DB	
電圧	DC 36 V	
モーター	直流ブラシレスモーター	
用途	乾式	
集じん容量	8 L	
フィルタの種類	粉じん用フィルタ(プレフィルタ付)	
最大風量	3.5 m ³ /min	
最大真空度	20.1 kPa {2,050 mm 水柱}	
吸込仕事率	220 W	
無線連動機能 ^{*1}	あり	
Bluetooth	Bluetooth 標準規格 Ver. 5.0 使用周波数帯域：2.4 GHz 帯 (2.402 ~ 2.480 GHz)	
外形寸法	幅	331 mm
	高さ	382 mm
	奥行	369 mm
質量	10.1 kg (BSL 36B18 × 2 個 装着時)	
使用可能蓄電池 ^{*2}	マルチボルトタイプ蓄電池	

※1: Bluetooth による電動工具との無線連動機能。

※2: 既存の蓄電池 (BSL 3660/3626/3620、および BSL 18xx、BSL 14xx シリーズ) は使用できません。

2. 蓄電池

形名	BSL 36B18	
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電池電圧	36 V / 18 V (コードレス工具体体により自動切替)	
容量	4.0 Ah / 8.0 Ah (コードレス工具体体により自動切替)	
冷却	対応	
使用可能コードレス製品	18 V 品: 使用可 36 V 品: マルチボルトタイプ蓄電池対応製品	
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36xxx、UC 18xxx シリーズ	
残量表示ランプ	緑色 LED	

標準付属品

品名	形名・仕様	RP 3608DB	
		2WP	NN
① ホース (内径φ28 × 長さ 5 m) (電動工具との接続用)		1 本	1 本
② アダプタ (ゴム)		1 個	1 個
③ ポリ袋		5 枚	5 枚
④ ジョイント (A)		1 個	1 個
⑤ ジョイント (B)		1 個	1 個
⑥ D 25 アダプタ (38 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)		1 個	1 個
⑦ D 25 アダプタ (26 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)		1 個	1 個
⑧ ツールボックス		1 個	—
⑨ 蓄電池 (BSL 36B18)		2 個	—
⑩ 充電器 ● 取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 個	—
⑪ 電池カバー		2 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

最新の情報は、弊社ホームページ、または総合カタログを参照してください。

部 品 名		用 途
お掃除セット	ホース (内径φ38 × 長さ 1.5 m) 	一般清掃用
	ズームパイプ 	一般清掃用
	床用吸口 	一般清掃用
	すき間用吸口 	一般清掃用
紙フィルタ (5 枚入り) 	紙フィルタごと捨てることで、清潔にゴミ捨てができます。 水は吸引できません。 紙フィルタ使用時は、付属の粉じん用フィルタを併用してください。	
ホース (内径φ38 × 長さ 5 m) 	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。 電動工具と接続しても使用できます。	
ホースバンド (呼径: φ38、φ60、φ75) 	集じんアダプタを使用する場合、機体のアダプタと接続するため使用します。	
AC/DCアダプタ (ET 36A) 	マルチボルトタイプ蓄電池対応 36 V 製品用の直流電源です。	
各種電動工具との接続部品	集じんアダプタやジョイント等については、別紙「集じん機と各種電動工具の接続」をご覧ください。	

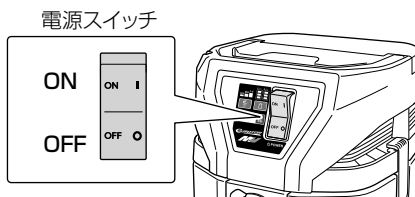
ご使用前の準備・点検

●電源スイッチ「OFF」の確認

電源スイッチが入っているの知らずに蓄電池を本体にさし込むと、不用意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

電源スイッチは、「ON」側を押すと運転し、「OFF」側に戻すと停止します。

蓄電池装着時は、電源スイッチが「OFF」になっていることを必ず確認してください。



●蓄電池の使用順番について

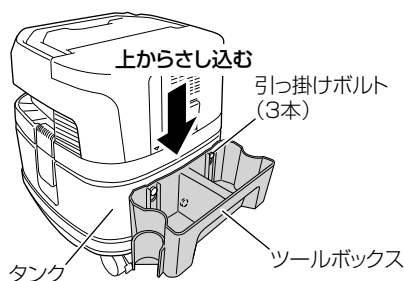
蓄電池 2 個取付けた場合、電池残量の少ない蓄電池から使用を開始し、空になると残りの蓄電池に自動的に切り替わります。

蓄電池 1 個取付けでも使用可能です。

注 空になった蓄電池は、すぐ充電しておくで次の使用時便利です。

●ツールボックスの組立 (2WPのみ)

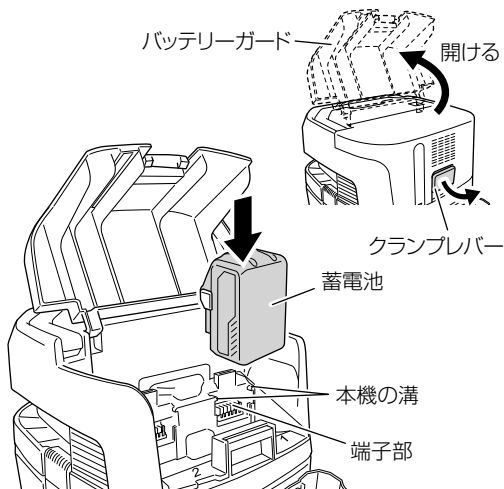
タンク後ろ側の引っ掛けボルト (3本) に合わせ、ツールボックスを上からさし込みます。



●蓄電池の取付け・取りはずし

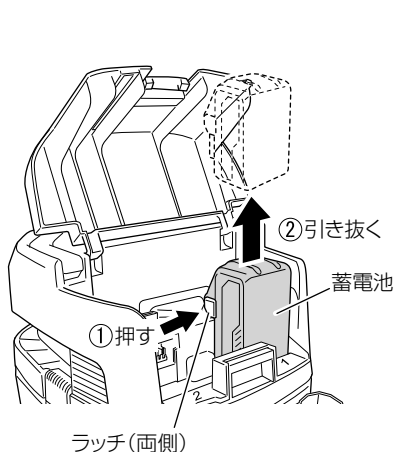
蓄電池の取付け

クランプレバーを引きながら、バッテリーガードを開けます。次に蓄電池を本機の溝に合わせ、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



蓄電池の取りはずし

蓄電池を本機から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、上方にスライドさせて引き抜きます。



注 蓄電池を挿入するときは、無理な力をかけないでください。簡単に入らないときは、正しく挿入されていません。取付ける向きが正しいか、異物が挟まっていないか確認してください。

⚠注意

端子部には触れないでください。
端子部で手を切るなど、思わぬけがの原因になります。

● 電池残量表示について

蓄電池単体、あるいはコードレス集じん機本体で電池残量を確認することができます。

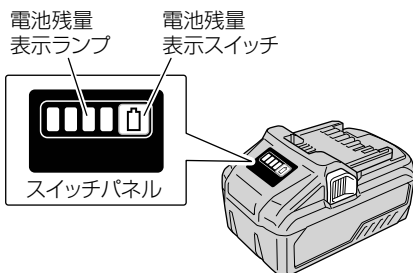
- 注**
- 蓄電池側とコードレス集じん機側の残量表示は異なる場合があります。
 - 電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

蓄電池 (BSL 36B18)

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態	電池残量
	75% 以上
	50% ~ 75% 未満
	25% ~ 50% 未満
	25% 未満
	0%
	点滅 高温のため出力停止 ^{※1}
	故障のため出力停止 ^{※2}

※1:蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2:蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

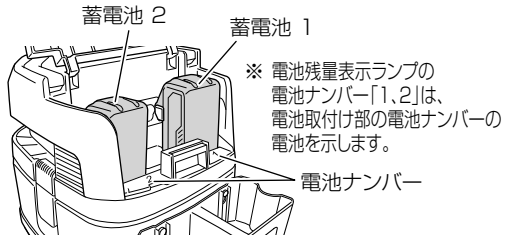
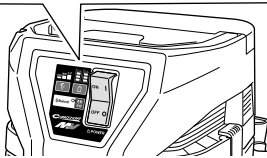
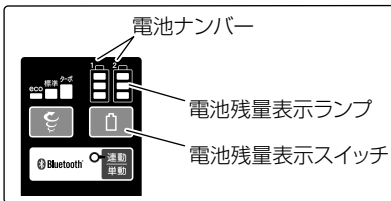
コードレス集じん機

蓄電池を取付け、スイッチパネルの電池残量表示スイッチを押して、各々のランプの点灯状態で確認できます。

ランプは、電池残量表示スイッチを押している間のみ点灯します。

注 コードレス集じん機側の残量表示は、停止中に確認してください。

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
	消灯	25% 未満



ポリ袋の取付け (ポリ袋なしでもご使用できます)

警告

万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを「OFF」にし、蓄電池を本体から抜いてください。

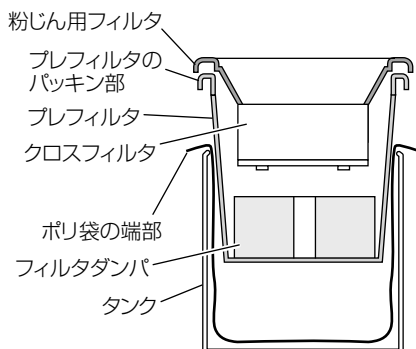
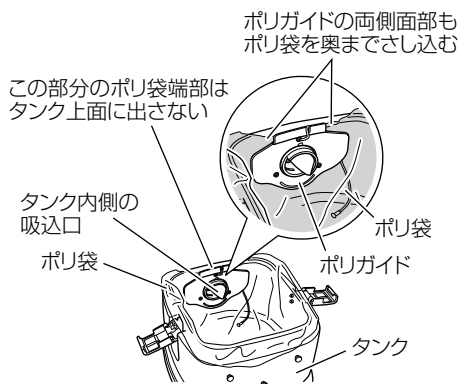
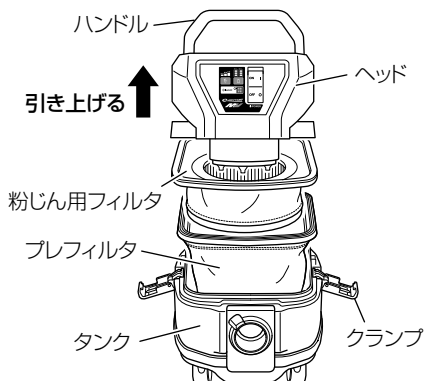
1 クランプ(2個)をはずし、ハンドルを持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。タンク内の粉じん用フィルタ、プレフィルタを取りはずしてください。

2 タンク内側とポリガイドの間に、付属のポリ袋をさし込みます。まずポリガイドの下側、次に両側面の順にさし込んでください。

3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。P.18「フィルタの取付け・確認」の手順に従い、プレフィルタ、粉じん用フィルタを入れてください。

注 プレフィルタは、パッキン部がポリ袋をしっかりと挟み込むように取付けてください。

注 ●市販品のポリ袋は、45 L (幅 650 mm × 深さ 800 mm) が使用可能です。ただし厚さ 0.04 mm 以上の物を使用してください。
●吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください(右図参照)。タンク上面からポリ袋の端部をすべて出すと、吸込口がふさがれ、集じできません。



フィルタの取付け・確認

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを「OFF」にし、蓄電池を本体から抜いてください。
- フィルタ（粉じん用フィルタ、プレフィルタ）は、必ず取付けてください。モーターが故障する原因になります。

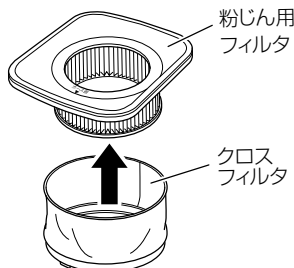
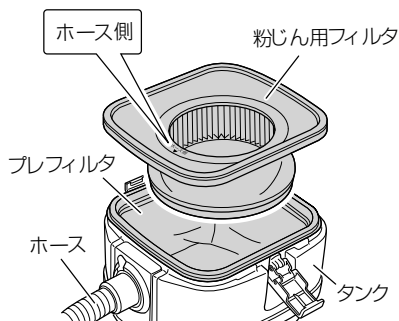
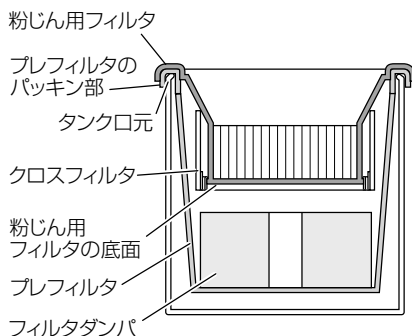
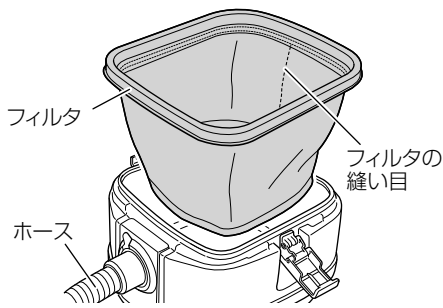
注 水の吸引はできません。

1 フィルタの縫い目を、ホース吸込口の反対側になるように組み込みます。

2 プレフィルタのパッキン部が、タンク口元にかかっていることを確認してください。
次にプレフィルタ底にフィルタダンパを入れてください。

3 粉じん用フィルタにクロスフィルタを表示された矢印方向からさし込み、取付けてください。

4 「ホース側」の表示に方向を合わせて、粉じん用フィルタを入れます。



電動工具との接続

⚠ 警告

金属の研削、切断作業時に発生する火花の集じんはできません。

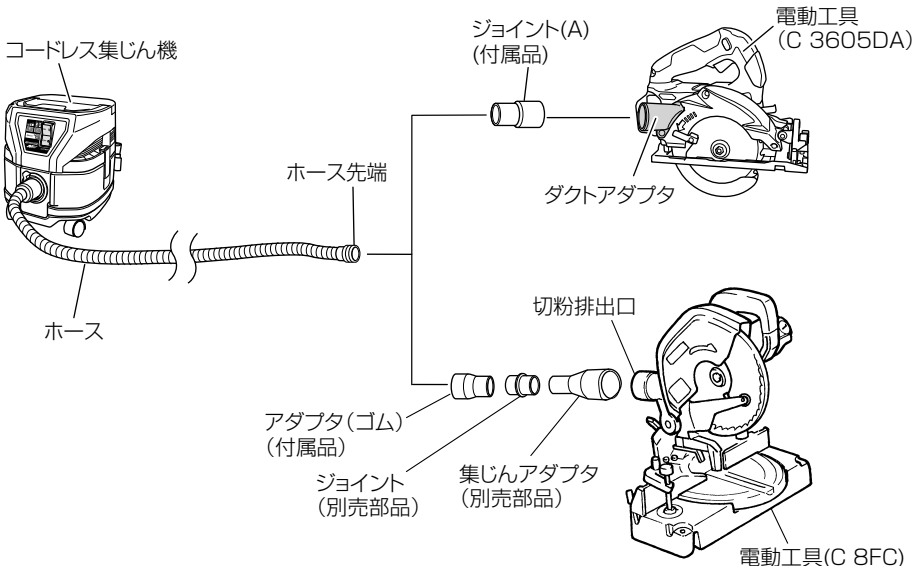
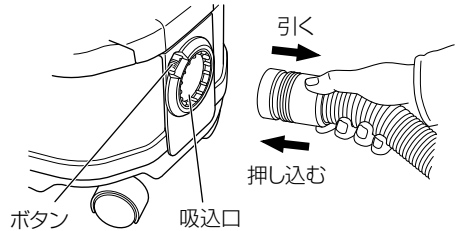
付属のジョイントやアダプタで、ホースを電動工具へ接続します。
接続する電動工具によって、さらに別売部品の集じんアダプタやジョイント等が必要となります。詳しくは、別紙「集じん機と各種電動工具の接続」をご覧ください。
また、電動工具を無線連動で使用する場合は、P.22「無線連動機能について」を参照してください。

注 ホースを無理に曲げたり、踏みつけないでください。また、ホースを引いて本機を移動させないでください。

ホースの変形や破損の原因になります。

付属のホースをタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。

ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。



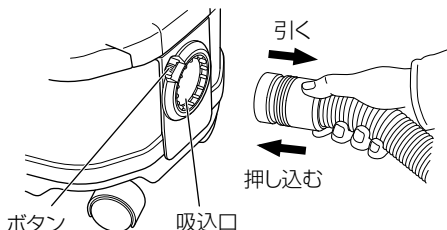
掃除機として使う

掃除機として一般清掃作業する場合は、別売部品のお掃除セットを接続して使用してください。

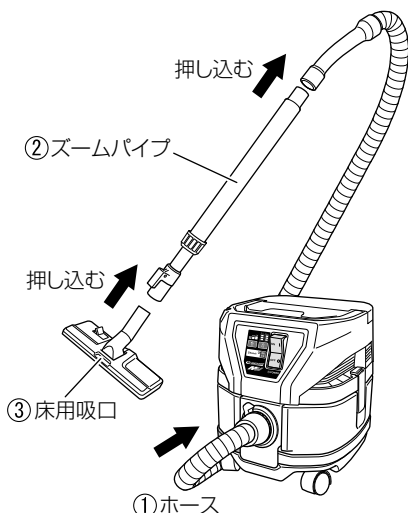
注 ホースを無理に曲げたり、踏みつけないでください。また、ホースを引いて本機を移動させないでください。

ホースの変形や破損の原因になります。

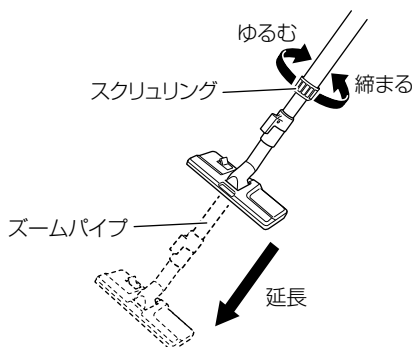
1 別売部品のホースをタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。
ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。



2 ① ホース
② ズームパイプ
③ 床用吸口
の順に、矢印方向に押し込んで接続します。
用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。



3 次にズームパイプのスクリュリングをゆるめて、作業に合わせた長さに調整します。
調整後は、しっかりスクリュリングを締付け、固定してください。



スイッチの操作

● 電動工具と連動して 運転する

1 電源スイッチの「ON」側を押し、電源を入れます。
（「OFF」側に戻すと電源が切れます）

2 連動 / 単動スイッチを押して、「連動」を選択します。
連動モード表示ランプ
「点滅」：接続相手を検索中
「点灯」：接続完了し、連動可能

3 モード切替スイッチを押すたびに吸込力が切り替わります。用途に合わせて、「eco」、「標準」、「ターボ」から選択してください。
（吸込力はモード表示ランプが点灯して表示）

4 連動する電動工具のスイッチの「ON」 / 「OFF」操作で、無線連動機能[※]によりこの機体も運転・停止します。
なお、電動工具のスイッチを切った後も、ホース内にたまった粉じんを吸い込むために、機体は数秒間運転してから停止します。

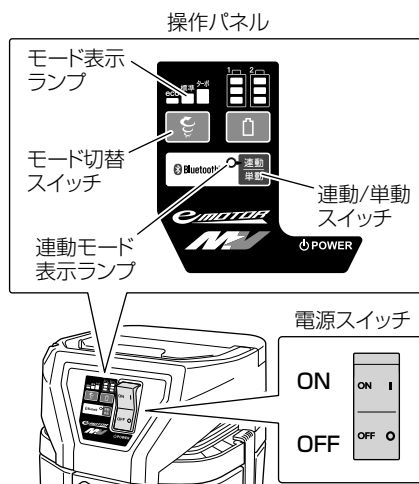
※ 本機と電動工具の無線連動については、P.22「無線連動機能について」の項を参照してください。

● 単動で運転する

1 電源スイッチの「ON」側を押し、電源を入れます。
（「OFF」側に戻すと電源が切れます）

2 連動 / 単動スイッチを押して、「単動」を選択します。
（「単動」のときは、連動モード表示ランプが消灯）
このとき、機体が運転開始します。

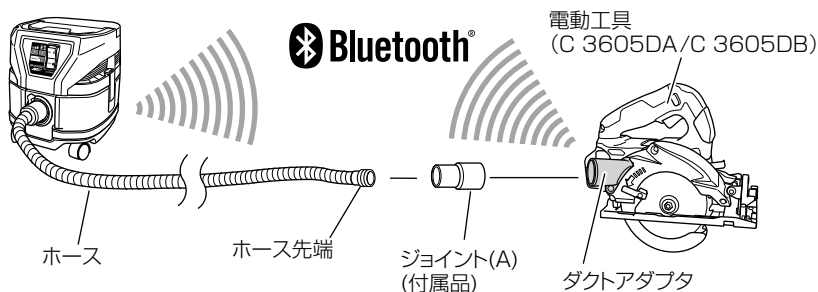
3 モード切替スイッチにより、モードを選択します。
左記連動運転時の操作と同じです。



無線連動機能について

本製品を「連動」モードにすることで、Bluetooth による無線接続（ペアリング）した電動工具のスイッチの「ON」/「OFF」操作で、本製品を運転・停止させることができます。

電動工具側の操作方法については、電動工具の取扱説明書を参照してください。（使用できる機種や仕様は、最新のカatalogを参照またはお買い求めの販売店に問い合わせてください。）

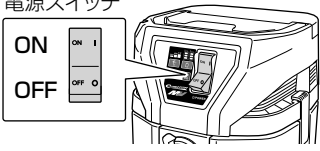
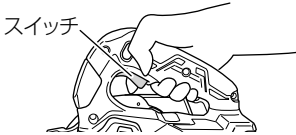
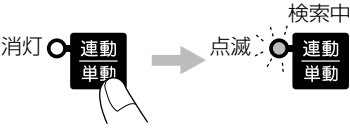





- 注**
- 同時に 2 台以上の機器と接続することはできません。
 - 電動工具のスイッチを入れてから、本機が起動するまで約 0.5 秒かかります。また「OFF」にしたときは、ホース内のごみを吸い込むため本機は数秒遅れて停止します。
 - 接続相手を検索中（表示ランプ点滅中）に電動工具のスイッチを引くと、電動工具のモーターは起動します。
（検索中は本機のモーターは起動しません）
接続が完了（ランプ点灯）次第、本機が起動します。
 - 本機の同時接続可能数は 1 台です。
また、接続の際は 1 セットずつ行ってください。
複数台を同時に行うと正しく接続できない場合があります。
 - 本機は、連動モード中に約 2 時間操作をしないと自動で電源を OFF します。
 - 無線連動の接続有効距離は約 10 m です。
本機と電動工具の間に障害物などがあると、有効距離が短くなる場合があります。
 - 接続が切れると、本機は検索状態に戻ります。

● 連動する

無線連動機能を搭載した電動工具と連動して使用する際には、作業開始時に Bluetooth 通信を行うために接続を行います。

必ず本機と電動工具をホースでつないでから、下記の手順で接続してください。
(操作は、本機と電動工具のどちらが先でもかまいません。)

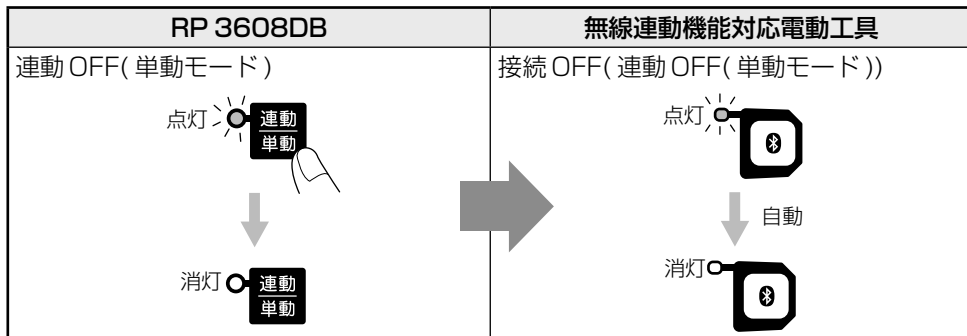
RP 3608DB	無線連動機能対応電動工具
<p>① 電源スイッチを ON</p> <p>電源スイッチ</p> 	<p>① スイッチを一度引く</p> 
<p>② 検索開始</p> 	<p>② 検索開始</p> <p>電動工具の無線連動スイッチ</p> 
<p>③ 接続完了*</p> 	<p>③ 接続完了*</p> 

※ 両方が検索中 (ランプ点滅) になってから、接続完了 (ランプ点灯) まで約 1 ~ 3 秒かかります (距離や障害物などにより変化します)。

●連動を OFF にする

本機の操作で連動を OFF にする場合

本機の連動 / 単動スイッチを押すと単動モードになり、接続が切れます。
接続が切れると、電動工具の連動モードは自動的に OFF になります。



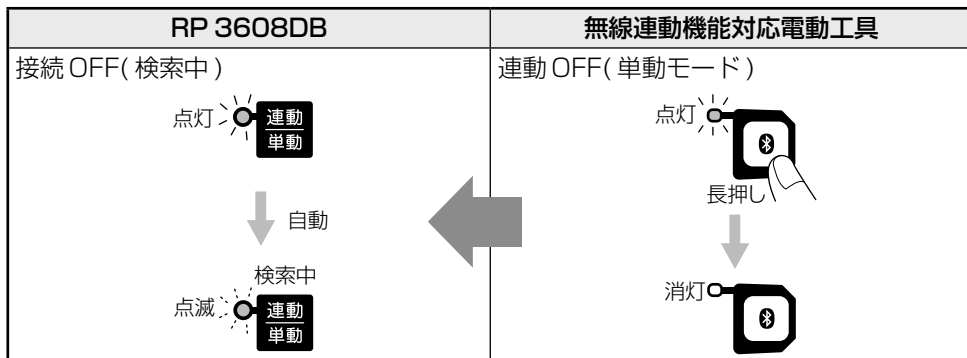
※ 本機の電源を切ることでも、連動を OFF にすることができます。

電動工具の操作で連動を OFF にする場合

電動工具の無線連動スイッチを長押しすると電動工具は単動モードになり、接続が切れます。

接続が切れると、本機は検索中に切り替わります。

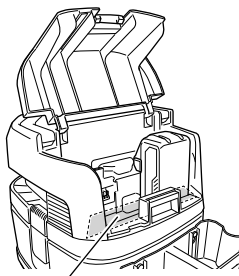
接続されない状態が約 2 時間続くと自動的に電源が OFF になります。



- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん
- 作業場、その他の一般清掃

⚠ 警告

- フィルタは、必ず取付けてください。モーター損傷の原因になります。
- ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスク、保護メガネを使用してください。
- 蓄電池取付け部の下に、粉じんやほこり、あるいは水などの液体がある場合は、きれいにふき取ってください。たまっていると短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの原因になります。



蓄電池取付け部の下に、ほこりや水などがたまらないように

注 ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引いてコードレス集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。ホースの変形や破損などの原因になります。

1 ポリ袋を取付ける

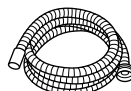
必要に応じ、ポリ袋を取付けてください。(P.17「ポリ袋の取付け」参照)

2 フィルタを確認する

タンク内に正しく取付けてあることを確認します。(P.18「フィルタの取付け・確認」参照)

3 ホースを接続する

● タンクの吸込口に、付属のホースを接続します。(P.19「電動工具との接続」参照)



● 電動工具との連動の場合、付属のアダプタと必要に応じて別売部品のアダプタ・ジョイントで、ホースを電動工具へ接続します。(P.19「電動工具との接続」参照)



● 掃除機として使用の場合、別売部品のお掃除セットのホースを接続します。(P.20「掃除機として使う」参照)

4 蓄電池を取付ける

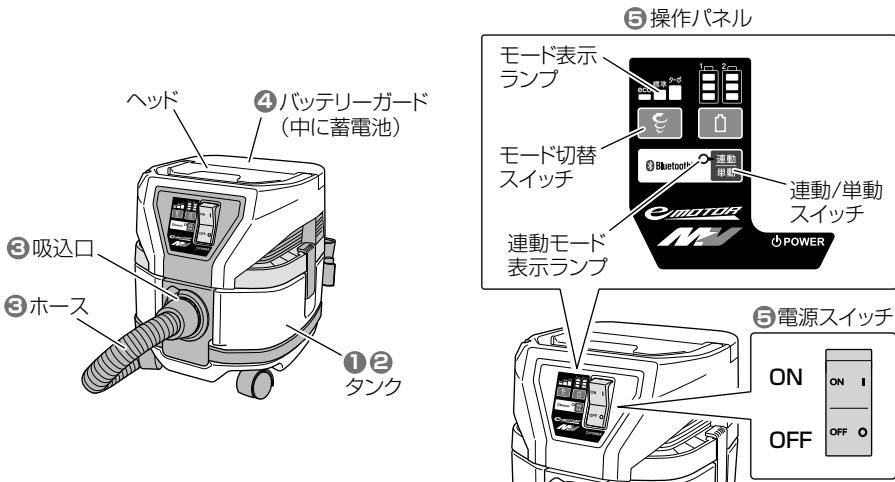
P.14「蓄電池の取付け・取りはずし」を参照してください。

5

スイッチを入れる

	電動工具と連動運転	単動運転
電源スイッチ	「ON」側に押す	「ON」側に押す
連動 / 単動スイッチ	「連動」を選択	「単動」を選択
モード切替スイッチ	用途により選択	用途により選択
電動工具との接続 (ペアリング)	電動工具の無線連動スイッチを押す (P.22「無線連動機能について」参照)	—
作業	電動工具を ON/OFF して連動運転	床などの掃除作業

- 注**
- 本機はメモリー機能を備えています。
 - 電源スイッチを「OFF」にした後、次に「ON」にすると、モード切替スイッチ、連動 / 単動スイッチは「OFF」にしたときの状態で復帰します。
「ターボ」モードの場合のみ、「標準」モードで復帰します。
 - 使用環境によっては機体の温度保護装置が働き、停止する場合があります。
停止した場合は、P.35「故障診断」を参照してください。

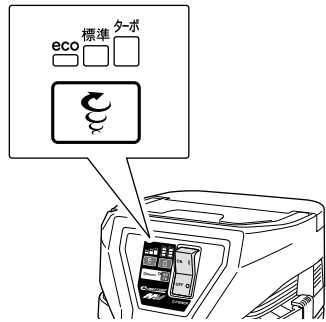


モード表示ランプの警告シグナルについて

本製品は、機体および制御部を保護する機能が付いています。作業中に各保護機能が作動すると、約30秒間モード表示ランプが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちに電源スイッチを切り、対処方法に従ってください。

モード表示ランプ



保護機能	モード表示ランプ		対処方法
過負荷保護	点滅	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
温度保護	点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 ■ ■ ■	蓄電池や機体を十分に冷ましてください。

フィルタの除じん

電源スイッチを「OFF」にするたびに、ちり落としされる機構となっています。作業途中で吸い込みが悪くなったときは、一度電源スイッチを「OFF」にしてください。再度作業を開始しても吸い込みが回復しないときは、粉じんが一杯になっていますので、P.28「粉じんを捨てる」の手順に従って粉じんを捨ててください。

粉じんを捨てる

⚠警告

- 粉じんを捨てる際は電源スイッチを「OFF」にし、蓄電池を本体から抜いてください。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

- 注**
- 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
 - ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。
 - ヘッドやタンクにズームパイプ、吸口等をさし込んだまま機体を倒さないでください。
機体破損の原因になります。

1 クランプ(2個)をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

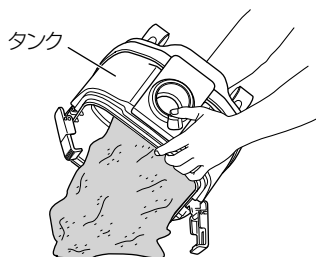
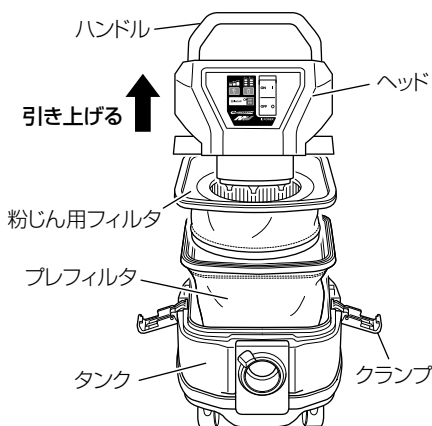
2 粉じん用フィルタを取り出し後、プレフィルタの内側面を数回軽くたたいて、付着した粉じんを落とします。
次にタンクからプレフィルタを取り出します。

3 タンクを倒し、粉じんを捨てます。

4 粉じん用フィルタ、プレフィルタを取付けます。
次に、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けてください。
(P.17「ポリ袋の取付け」参照)
(P.18「フィルタの取付け・確認」参照)

⚠注意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。
変形、破損の原因になります。
- 使用後は毎回、粉じんを捨てるようにして、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。
吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。
クランプが破損する原因になります。



紙フィルタ（別売部品）の取付け

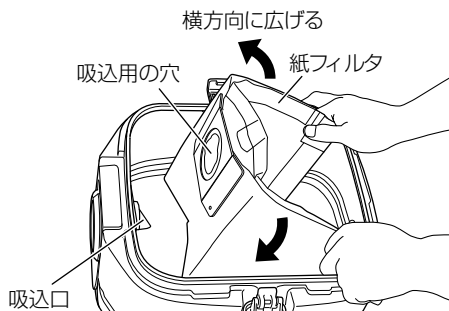
⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを「OFF」にし、蓄電池を本体から抜いてください。
- 紙フィルタを使用するときは、付属の粉じん用フィルタ、プレフィルタと併用してください。
万一、紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

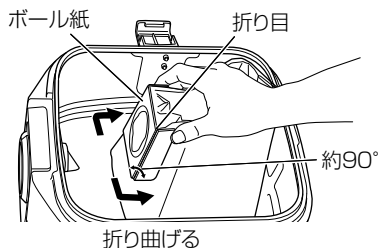
注 • 水の吸引はできません。

- フィルタダンパは使用しないでください。
使用すると、集じん容量が少なくなります。

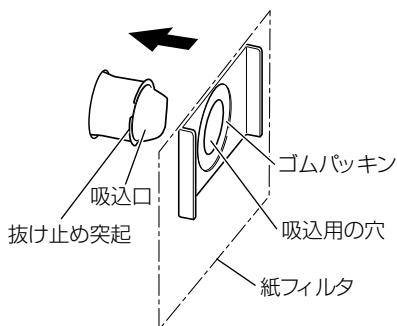
1 紙フィルタの吸込用の穴がタンクの上側になるよう、紙フィルタを横方向に広げます。



2 機体に装着する前に、ボール紙に付いている両側の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます。



3 吸込口に紙フィルタの吸込用の穴を合わせます。
右図の矢印方向にさし込み、紙フィルタのボール紙が吸込口の抜け止め突起を乗り越えるまで、しっかりとさし込んでください。



AC/DC アダプタ (別売部品) の使い方

AC 100 V 電源を使用する場合は、別売部品の AC/DC アダプタ (ET 36A) を下の手順に従って取付けてください。

- 1 クランプレバーを引きながら、バッテリーガードを開けます。

- 2 コードカバーを引き抜きます。

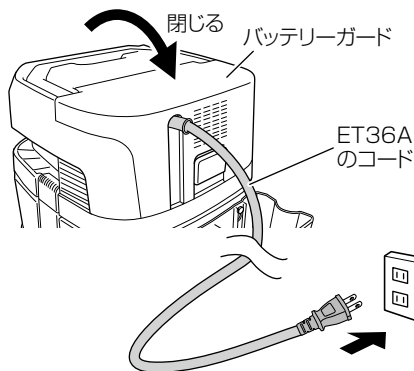
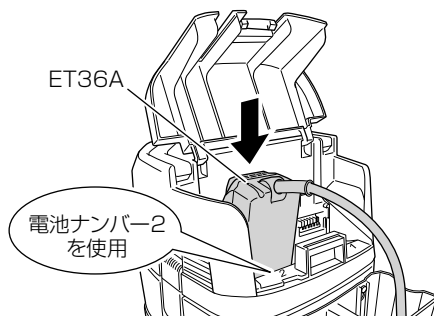
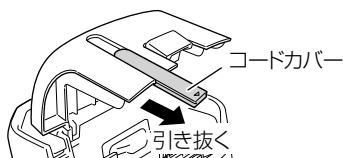
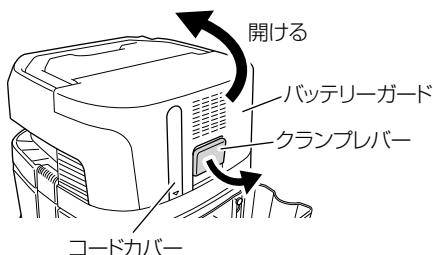
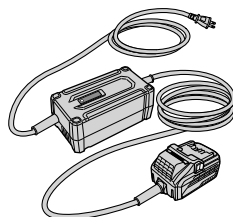
注 はずしたコードカバーは、紛失しないように保管してください。

- 3 AC/DC アダプタ (ET 36A) を電池ナンバー 2 に、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。

注 電池ナンバー 1 は使用しないでください。

- 4 AC/DC アダプタ (ET 36A) のコードを右下図のように通して、バッテリーガードを閉じます。

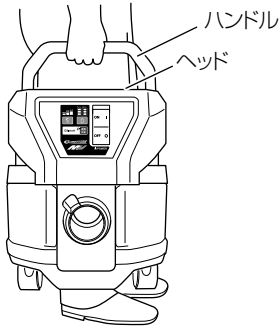
- 注**
- 再度蓄電池で使用する場合は、必ずコードカバーを取付けてください。蓄電池や蓄電池取付け部に粉じんや切りくずがたまり、故障の原因になります。
 - 使用環境によっては、AC/DC アダプタの温度保護装置が働き、停止する場合があります。(本機操作パネルの表示ランプが全消灯します。) 停止した場合は、P.35「故障診断」を参照してください。



運搬・収納・保管

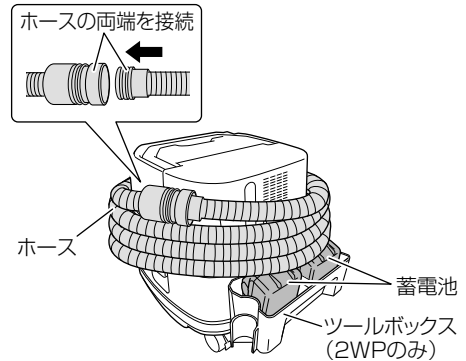
● ハンドルの使い方

運搬・移動する場合は、右図のようにヘッド部のハンドルを持って行きます。ハンドルを使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。



● 機体を収納する

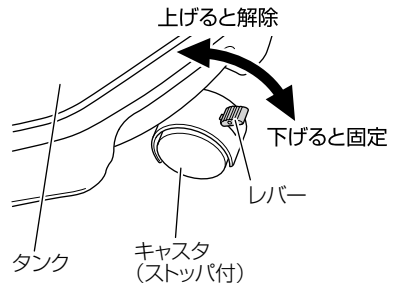
- 注**
- ホースは両端を接続した収納ができます。
 - 蓄電池は本体取付け以外に、ツールボックス内に収納できます。



● キャスタの固定・解除

キャスタ(ストッパ付)のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。機体を収納しておく場合、あるいは掃除の途中で作業を中断する場合、キャスタを固定すると機体の動き止めができて便利です。

- 注** 機体を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。
- キャスタの破損の原因になります。



● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

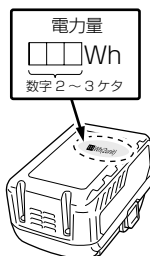
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。
- BSL 36B18 は工具本体に取付けると100 Whを超え、危険物扱いとなります。

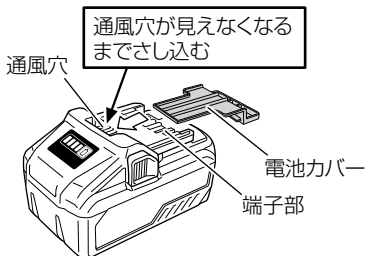


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池力バーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

保守・点検

⚠警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを「OFF」にし、蓄電池を本体から抜いてください。
- ぬれた手で作業しないでください。
感電やけがの原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

- 注** ●各フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。
- 各フィルタは定期的に点検し、破れ、穴がある場合は、交換してください。
そのまま使用すると、機体損傷の原因になります。

●フィルタの手入れ

粉じん用フィルタ、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパが目詰まりすると、吸込力が著しく低下しますので、付着した粉じんは、こまめに取り除いてください。

① ちり落としは、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパを手で軽くたたきます。圧縮空気を吹きかけると簡単に行えます。

② 粉じん用フィルタはブラッシングや圧縮空気を吹きかけて清掃をします。

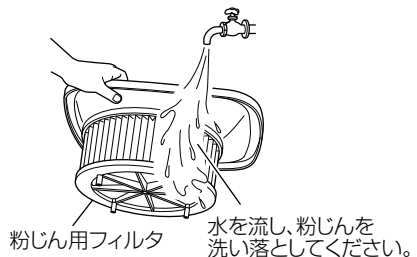
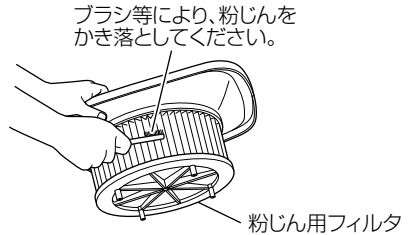
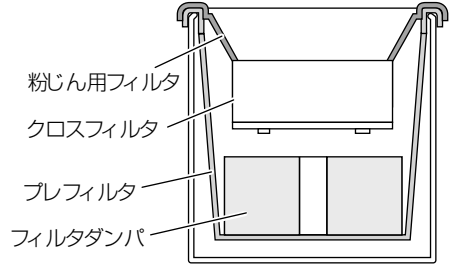
粉じん用フィルタは定期的(1～2か月に1回以上)に水洗いによる清掃を行い粉じん除去してください。

なお、水洗い後は、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。

注 ●プレフィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたき程度にしてください。

ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

- 粉じん用フィルタは、たたきつけたりしないでください。
樹脂部が割れる原因になります。



●本体はきれいに

石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●端子部（機体、蓄電池）の点検

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも、時々点検してください。

警告

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの原因になります。

●蓄電池取付け部の点検

蓄電池取付け部の下に、粉じんやほこりあるいは水などの液体がないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも、時々点検してください。

警告

蓄電池取付け部の下に、粉じんやほこりあるいは水などの液体がある場合は、きれいにふき取ってください。
たまっていると短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの原因になります。

●モーターの取扱いについて

モーターに、油および水が入らないよう十分注意してください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にして相談ください。

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチツとなるまで蓄電池を押し込んでください。
	蓄電池取付部のターミナルおよび蓄電池スライド部に切りくず、ほこりが付着している	乾いた布などで、付着した切りくず、ほこりを清掃してください。
吸込力が弱い または吸い込まない	タンク内で粉じんが満杯になっている	タンク内の粉じんを捨ててください。その後、フィルタに付着した粉じんを落としてください。
	フィルタが目詰まりしている	フィルタに付着した粉じんを落としてください。
	フィルタが取付いていない	フィルタが正しく取付けられているか確認してください。
	ポリ袋が誤って取付いている	ポリ袋を取付け直してください。
排気口から粉じんが漏れる	フィルタが取付いていない 取付けが確実でない	フィルタを取付け直してください。
	フィルタが破損している	破損したフィルタを交換してください。
突然止まった モード表示ランプが……	点滅 0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯	過負荷になった (保護機能が作動)
	点滅 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯	蓄電池や本体が過熱状態になった (保護機能が作動)
	全消灯	AC / DC アダプタが過熱状態になった (保護機能が作動)
接続アダプタ・ジョイント などのアタッチメントが 取付かない 抜ける	取付け部形状あるいは寸法が合わない	ご使用の機種をお確かめのうえ、本書あるいは弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。
Bluetooth 接続できない、 もしくは接続が途切れる	電動工具との接続ができていない	電動工具の取扱説明書も良くお読みになり、正しく接続してください。 なお、休憩後など続けてお使いになる場合でも、再度接続が必要になる場合があります。
	近くにある無線 LAN など電波を発する機器の影響を受けている	影響のある機器と本機を遠ざけてください。
	電動工具が本機からはなれすぎている	電動工具を本機に近づけてください。
	指定以外の機器を接続しようとした	弊社指定の電動工具と接続してください。
	既に接続中の機器がある	同時に 2 台以上の接続はできません。 使用する 1 台を選び接続してください。
電動工具と本機の間に障害物がある	障害物を取り除いてください。	

メ 毛

ご修理のときは


修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～12:00, 13:00～17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>